

en-JoY

—医療現場における男女共同参画を目指して—

代表者 鬼塚悠里 (医学B 5年)

構成員 瀧内麻里 (医学B 6年) 山田紘子 (医学B 6年) 大下真知子 (医学B 5年)
鈴尾舞子 (医学B 5年) 岡村菜奈子 (医学B 4年)
小川裕子 (医学B 3年) 芳川里奈 (医学B 3年)
梶間未葵 (医学B 2年) 西尾友里 (医学B 2年)

1. en-JoY 冊子の作成

「en-JoY」は、医療現場における男女共同参画社会を学生の立場から追求することを目的として集まった、山口大学医学部医学科に在籍する女子医学生グループです。この度、en-JoYの新たな活動として、山口県や山口大学医学部の出産・育児等の支援制度をまとめた冊子を作成しました。女医が出産や育児をしながらも休職・退職することなく働き続けるために、女子学生の問題意識を高め、将来を考える手助けになることを期待しています。その内容は、①山口大学医学部附属病院の各診療科の女性医師の勤務状況や支援策などを紹介（各診療科からの応援宣言）②山口県内の支援制度の紹介③en-JoYのこれまでの活動報告④行ったアンケートの結果です。



en-JoY 冊子の作成

2. 「女医と女子医学生の交流茶話会」の主催

医療現場における男女共同参画を推進することを目的とした活動の一環として「女医と女子医学生の交流茶話会」を毎年開催しており、今年で3回目を迎えました。現在、医師の地域的・診療科的偏在が問題となっています。その背景として、女性医師の増加が挙げられます。女性医師が安心して出産や育児ができる環境、その後のスキルアップ・復職を容易にする環境を作ることとは解決すべき重要課題の一つであると考えられます。そこで、本交流会では、学生のうちからこうした問題を考える姿勢を促し、女子学生が将来の医師像について考える場を提供することを目的としています。女子学生の不安・疑問を、実際に現場で働く先輩女性医師に投げかけることで、相互理解を深め、女子医学生が将来医師として働くに当たり役立つ事柄を共有し、山口大学医学生の資質向上に寄与することを目的としています。同時に、医師側に医学生のニーズ・実情に関する情報を提供することで、女性医師だけでなく、男性医師・ほかの医療職にとってもより働きやすい職場環境の整備に貢献することができると考えています。なお、参加学生からは「医師として働く将来を具体的に考えるきっかけになった」、「縦のつながりができて心強い」と、大変好評でした。



女医と女子医学生の交流茶話会

3. 各会合への参加と発表活動

en-JoY と同じような志で活動されている他地域や他大学の団体と積極的に交流しています。他大学・他団体の活動を知り、自分たちの活動に生かすと同時に、en-JoY の活動を知ってもらい、相互交流を通して互いに高めあっていくことを目的としています。具体的には、「消化器病学を支えるために next generation」（第9回日本消化器病学女性医師研究者の会）への参加、「地域医療の充実を目指して」（愛媛県医師会）での発表、「第一回 MUSCAT フォーラム」（岡山大学）への参加、「きらめきプロジェクト」（九州大学）への参加、「性差医療学会 第4回学術集会」（下関）での発表、「山口県医師会男女共同参画部会総会」での発表を行いました。



各会合への参加と発表活動